



市史へんさん

第233号

平成30年8月1日
小松市史編纂事務局
へんさんだより



8月7日は立秋ですが、今年は、連日35℃前後の猛暑日が続き、秋の気配はまだまだのようです。暑い日々が続く中、8月末頃から各町でいよいよ秋祭りが催されます。今年は粟津温泉が開湯1300年を迎え、メモリアルイベントが次々と開催され、おっしょべ祭りも盛大に行われます。皆様も暑さを吹き飛ばして踊ってみませんか。

さて、先月15日に開催された市史講座では、『建築編』の発刊にちなんで、当市の町家建築の特徴性をご講話いただきました。何気なく見ていた町家風景も見る視点が変わったのではないのでしょうか。



小松市は、三代藩主前田利常により整備され、旧北国街道沿いに城下町が形成された。寛文7年(1667)の古地図と、ほぼ町割り、道の姿が変わらず、その町並みが江戸時代から明治まで栄え、大店が町中にも軒を連ねていた。しかし、明治の始め頃の町家は、ほぼ残っていない。昭和5年と同7年に立て続けに大火が起こり、江戸時代以来の町並みがこの時に失われた。すぐに復興が行われ、防火対策として道路の拡幅がされた。火事を広がることを防ぐだけではなく、消防車の進入を容易にするため道幅を広くし、「隅切り」といい道路を斜めに切り取り、車がカーブしやすいようにした。

小松の町家の特徴は、大火後昭和10年ぐらいいままでに一気に再建され、同時期に建物を造ったので、同じ高さで町並みが揃った。その頃は軒の高い建物を造る時代だった。明治期では、2階は物置の用途が色濃く、天井は低く、人が住める高さではなかったが、昭和にかけて2階を高くし、生活空間として利用できるようになった。

一般的な町家の造りは、大火前はミセ、オエ、ブツマ、ザシキの一段四段型だったが、道路の拡幅により部屋数が取れず、ミセ、オエ、ザシキの一段三段型となり、ザシキに床の間と仏壇を並べる家が多かった。ブツマはあるが、仏壇ではなく押し入れにした家も多く、また町家では収納場所が少なく、オエの吹き抜けを塞いで、その上に物置部屋を造る家も何軒もあり、収納スペースを確保するためにブツマがだんだん小さくなっていった。

龍助町と大文字町を比較すると、龍助町では大型の町家が目立ち、奥の敷地に土蔵を建てている家が多いのに対して、大文字町の町家は小ぶりで、奥には蔵を建てずに離れにし、貸家とする場合が多かった。

蔵は焼け残ったのも多いが、新築した蔵は、奥に建てず、防災も含めて家屋に並べて建て、土蔵が多い。さらに、詳細を知りたい方は、『新修 小松市史 資料編 15 建築』をご覧ください。



『新修 小松市史 資料編 15 建築』発売中！

第3章「町家建築」では伝統的な特徴のある町家を紹介

特別価格 4,000円(税込)〈平成30年4月～12月〉

定価 5,200円(税込)〈平成31年1月～〉

市史講座アンケート結果 (49名回収)



【講座はいかがでしたか?】

- ・ 分かりやすかった 18人
- ・ ほぼ理解できた 18人
- ・ 勉強になった 16人
- ・ 興味深い内容だった 7人
- ・ また是非参加したい 8人

【年齢】

- ・ 80代以上 11人
- ・ 70代 24人
- ・ 60代 5人
- ・ 50代 3人
- ・ 40代以下 5人

【性別】

- ・ 男性 39人
- ・ 女性 10人

【ご感想】

- ・ 小松にはいろいろな特徴を持った、立派な町家が数多くあることを知った。
- ・ 町家は正面からは想像できないが、家の規模さや内装の美しさがとても魅力的だと思った。
- ・ 大火をはさむことで、小松の景色が一変したことを知った。
- ・ 今はない祖父母の家を思い出したり、友達、知り合いの家などの資料が見られ、感慨深く、興味深く聞いた。
- ・ 年齢も行き、小松のことを知りたいという気持ちが沸き起きている今、私の気持ちを満足させてくれる講義だった。
- ・ 細かく先生が調べられてあり、素晴らしい。土地での町家の比較も面白かった。この資料を大切にしたい。
- ・ とても細かく写真入りの資料で、わかりやすかった。

【ご希望】

- ・ 山村の農村建築、町家以外の建築全体。
- ・ 小松空港、基地の歴史と返還について。



<事務局 7月の活動状況>

- ・ 7月 4日(水) 教育関係(忠谷家文書)資料調査
- ・ 7月 5日(木) 教育関係(稚松幼稚園)資料調査
- ・ 7月 12・19日 国府・大杉谷村文書資料調査
- ・ 7月 15日(日) 市史講座
- ・ 7月 18日(水) 教育関係(市博物館所蔵品)資料調査
- ・ 7月 19日(木) 災害関係(小松町大火)資料調査
- ・ 7月 26日(木) 通史部会
- ・ 7月 26・27日 福祉関係(北國新聞記事)資料調査
- ・ 7月 26・28日 教育関係(町会会議録)資料調査
- ・ 7月 31日(火) 教育関係(小学校沿革史)資料調査



お知らせ

第84回 市史講座

『芭蕉二百回忌追善俳句集の世界』

～明治の俳人はいかに芭蕉を追善したか～

講師：綿拔豊昭筑波大学教授

日時：9月15日(土) 午前10時30分～

会場：小松市公会堂3階 第5・6会議室

<事務局 8月の活動予定>

- ・ 8月10日(金) 行政関係資料調査
- ・ 8月17日(金) 教育部会
- ・ 8月29日(水) 通史部会

<8月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

は小松市史編纂事務局が閉室しています。

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館 2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>